

# 腎臓内科 Nephrology

## 1. スタッフ構成

- 村上 太一(主任部長、腎糖尿病センター副センター長)  
2000年徳島大学医学部卒  
専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法  
資格:日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本腎臓学会腎臓専門医・指導医・評議員、日本透析医学会透析専門医・指導医、厚生労働省臨床研修指導医
- 谷村 智史(医長)  
2011年長崎大学医学部卒  
専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法  
資格:日本内科学会認定内科医、日本腎臓学会腎臓専門医、厚生労働省臨床研修指導医
- 西脇 麻里子(医長)  
2011年岡山大学医学部卒  
専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法  
資格:日本内科学会総合内科専門医、日本腎臓学会腎臓専門医
- 高橋 謙作(医長)  
2014年岡山大学医学部卒  
専門分野:腎疾患全般、血液浄化療法

## 2. 実績

### ■ 疾患別入院患者数

疾患名(ICD10準拠)	2019	2020	2021	2022
慢性腎臓病・腎不全	129	44	23	40
急性・慢性腎炎症候群	53	50	56	75
ネフローゼ症候群	48	46	36	34
末期腎不全	124	164	94	111
急性腎障害	23	14	10	7
SLE	7	4	2	0
シャントトラブル	59	87	59	68
血管炎	25	28	17	19
心不全	24	26	23	11
CAPDトラブル	12	15	7	6
感染症	—	—	—	19
その他	72	49	23	4
合計	576	527	350	394

### ■ 透析

	2019	2020	2021	2022
腎代替療法外来受診数	124	99	122	100
血液透析 導入数	93	89	98	97
腹膜透析 導入数	13	9	5	2

### ■ 腎生検

診断名	2019	2020	2021	2022
IgA腎症	20	11	17	21

膜性腎症	5	5	6	6
微小変化型ネフローゼ	6	6	7	2
糖尿病性腎症	10	0	5	2
微小変化	2	1	1	2
腎硬化症	10	4	2	4
移植腎生検	2	0	4	7
半月体形成性腎炎	5	4	5	1
ループス腎炎	2	0	1	3
アミロイドーシス	1	1	0	0
間質性腎炎	4	6	4	1
紫斑病性腎炎	1	1	0	0
巣状糸球体硬化症	3	1	1	1
膜性増殖性糸球体腎炎	0	0	1	1
その他	6	5	6	4
合計	77	45	60	55

### <扁桃腺摘出術およびステロイド・パルス療法>

IgA 腎症に対しては、腎炎の活動性を評価のうえ、完全寛解を目指して扁桃腺摘出術を行い、その後、ステロイド・パルス療法および経口ステロイド投与を行っています。若年者ではほぼ全症例に推奨しています。

### <腎臓病教育入院>

糖尿病、メタボリックシンドローム合併による腎不全患者が増加しています。腎機能維持と合併症予防のため、食事療法に加え栄養指導、運動療法を組み込んだ教育入院を行っています。

## 3. 2023 年度目標

- 尿所見異常から、慢性腎炎、慢性腎不全、透析治療、腎移植までの総合的腎臓病治療を継続、発展させること。特に、看護師、栄養士、薬剤師を含めた総合的な生活指導の充実を図ります。
- 腎生検診断の蛍光抗体検査と光学顕微鏡検査は当院病理部門で行い、1 週間程度で WHO 分類の診断を行っています。
- 腎代替療法は血液透析、腹膜透析、腎移植の 3 つの方法を説明・提案し、患者さんの生活スタイルに見合った治療方法を共に見つけていきます。
- 慢性腎臓病は心・脳血管病変をしばしば合併するので、循環器病センターや脳卒中センターとも連携し、総合的管理を行います。

## 4. 学術関係

### (1) 学会発表および講演

- 村上太一. 松山市エリアでの CKD 治療について考える. CKD 治療を考える会 in 松山. Web 開催 (2022.1.24)
- 村上太一. CKD における貧血治療の臨床的意義. 新居浜医師会学術講

演会. 松山 (2022.3.23)

3. 村上太一. CKD 診療で知っておきたいこと ANCA 関連血管炎を含めて. CKD 治療の課題と未来～地域で取り組む透析導入予防～. 松山 (2022.3.24)
4. 村上太一. CKD における貧血治療の臨床的意義. 愛媛県薬剤師会宇和島支部研修会. 宇和島・Web 開催 (2022.4.26)
5. 玉井文明, 村上太一, 谷村智史, 垣尾勇樹. 抗 Phospholipase A2 receptor 抗体が診断・治療に有用であった糖尿病性腎症合併特発性膜性腎症の 1 例. 日本内科学会第 126 回四国地方会. 高松 (2022.6.5)
6. 村上太一. 腎臓病における脂質異常症とインスリン抵抗性治療の意義. 愛媛県病院薬剤師会中予支部 Web 研修会. Web 開催 (2022.7.21)
7. 村上太一. 腎臓病と塩分・水分制限－病態を意識した“適塩”の勧め－. 第 7 回愛媛腎臓病療養指導セミナー. 松山 (2022.7.26)
8. 村上太一, 西脇麻里子, 谷村智史, 垣尾勇樹. 抗 PD-L1 抗体デュルバルマブ投与中に Goodpasture 症候群を発症した一例. 第 52 回日本腎臓学会西部学術大会. 熊本・Web 開催 (2022.11.18-19)
9. 垣尾勇樹, 村上太一, 谷村智史, 西脇麻里子. 慢性リンパ性白血病の経過中に発症した尿細管間質性腎炎の一例. 第 52 回日本腎臓学会西部学術大会. 熊本・Web 開催 (2022.11.18-19)
10. 村上太一. 腎臓病における脂質異常症とインスリン抵抗性治療の意義. Kowa Web カンファレンス. 徳島 (2022.12.5)
11. 平田彩乃, 村上太一, 垣尾勇樹, 谷村智史. Covid 19 ワクチン接種後に高度の低ナトリウム血症による意識障害を発症した慢性腎不全の 1 例. 日本内科学会第 127 回四国地方会. 松山 (2022.12.18)

## (2) 論文・著書

1. 信森祥太, 村上太一, 垣尾勇樹, 中西徳彦, 綿谷博雪. 腎生検が有用であった関節リウマチ患者に発症した尿細管間質性腎炎の一例. 愛媛県立病院学会々誌 56 巻, 57-60 (2022.3)
2. Michael Andrews, Teruhiko Yoshida, Clark M Henderson, Hannah Pflaum, Ayako McGregor, Joshua A Lieberman, Ian H de Boer, Tomas Vaisar, Jonathan Himmelfarb, Bryan Kestenbaum, Joon-Yong Chung, Stephen M Hewitt, Briana A Santo, Brandon Ginley, Pinaki Sarder, Avi Z Rosenberg, Taichi Murakami, Jeffrey B Kopp, Zsuzsanna Kuklennyik, Andrew N Hoofnagle. Variant APOL1 protein in plasma associates with larger particles in humans and mouse models of kidney injury. PLoS One 17(10). e0276649 (2022.10)